

## 「神経内科」から「脳神経内科」へ

我が国で「神経内科」の標榜が認可されたのは1975年です。脳や神経の疾患を内科的専門知識と技術をもって診療にあたって来ましたが、いまだに心療内科や精神科と混同されることがあります。「神経内科」の診療内容をより

よく一般の方々に理解していただくことを目的に、2018年3月日本神経学会が「脳神経内科」に標榜を変更する方針を打ち出し、新聞等で周知を行っています。

## 脳神経内科ではどのような病気をみていますか？

脳神経内科は脳・脊髄・末梢神経・筋肉の病気を内科的に診断・治療を行っております。我が国では頻度順にみると、脳卒中が170万人と一番多く、認知症(アルツハイマー型認知症を含む)150万人、頭痛150万人、てんかん100万人、パーキンソン病20万人、末梢神経障害10万人、脊髄小脳変性症2万人、重症筋無力症2万人、筋疾患(多発筋炎、筋ジストロフィーを含む)2万人、筋萎縮性側索硬化症1万人、多発性硬化症/視神経脊髄炎0.5万人となっています。当院でも同じ傾向であり脳卒中が一番多く、パーキンソン病/パーキンソン症候群、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、多発性硬化症/視神経脊髄炎、重症筋無力症

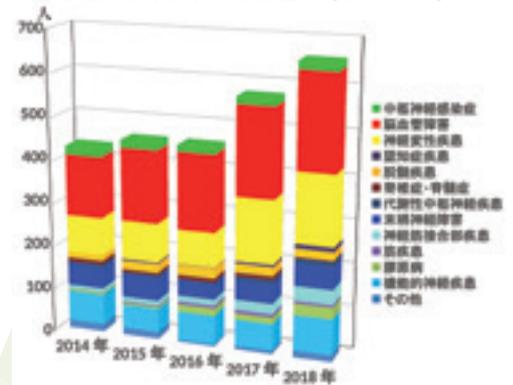
といった神経難病の診断治療(免疫グロブリン大量療法、免疫吸着療法含む)、脳炎・髄膜炎の感染症、てんかんやギラン・バレー症候群/慢性炎症性多発神経炎の治療、眼瞼痙攣、顔面痙攣、痙性斜頸、痙縮に対するボトックス治療、ポリソムノグラフィー(PSG)検査を導入し持続陽圧呼吸療法(CPAP)による睡眠時無呼吸症候群の治療、痙性対麻痺に対するバクロフェン髄注療法、埋め込み型心電モニター(Reveal LINQ)を使った心房細動検出等を行っています。高齢化社会を背景にますます患者さんの数は増加しています。

## 岡山医療センター脳神経内科の特徴は？

特に力を入れているのが脳卒中の治療です。我が国の脳卒中による死亡者数は年間約14万人で減少傾向にあるものの、悪性腫瘍、心疾患、肺炎に次いで第4位です。脳卒中患者数は約170万人ですが、人口の高齢化に伴い2020年には300万人に達すると予測されています。さらに寝たきりを含む要介護者124万人のうち30~40%は脳卒中が原因とされ、寝たきり原因のトップです。このように脳卒中は医学的にも社会的にもきわめて重要な疾患と考えられます。当院では2002年7月に脳外科と神経内科が共同で脳卒中センターを設立しました。24時間365日 on call体制で急性期脳卒中患者を受け入れてきました。2005年10月我が国でも組織プラスミノゲンアクチベーター(t-PA)が脳梗塞の超急性期治療薬として認可され、米国同様、脳卒中をbrain attackと呼び重要性が強調されるようになりました。発症から治療まで切れ目のない迅速な受け入れをするためには脳卒中救急医療体制の確立が急務です。2007年

7月より脳卒中集中治療室(SCU:Stroke Care Unit、4床)を設立しました。ホットラインを設置し救急隊やかかりつけ医から直接連絡を受ける体制にしています。さらに2012年8月t-PA静注療法が発症後4.5時間以内に適応が拡大されました。現在(2019年1月)までに171名にt-PA静注療法を行い約70%で良好な結果を得ています。さら

脳神経内科入院患者数(延べ人数)



に、2010年より血管内治療が出来るようになりました。カテテルという細い管を用いて血栓を回収し血流の再開通が得られるようになり治療成績が向上しました。当院としてはdrip and shipで対応しています。脳卒中を疑う症状があればすぐに受診してください。

また、高齢化社会を反映してアルツハイマー型認知症やパーキンソン病などの変性疾患も年々増加傾向にあります。

以前には治療方法が殆どなかった病気が、現在では多くの治療薬が臨床で使われるようになりました。決して完治するわけではありませんが、症状を緩和させることは可能となりました。多発性硬化症/視神経脊髄炎、重症筋無力症といった免疫性神経疾患も新しい治療が次々に登場しており、以前よりもコントロールが良くなりました。これからも皆様の役に立つような医療を提供したいと思います。

## スタッフ紹介

現在4名のスタッフで診療を行っています。当院は日本神経学会教育施設、日本脳卒中学会教育施設、日本認知症学会教育施設に認定されています。

まなべ やすひろ  
真邊 泰宏

医学博士、脳神経内科医長、日本内科学会認定内科医、  
指導医、評議員

日本神経学会専門医、指導医、代議員

日本脳卒中学会専門医、日本認知症学会専門医、指導医

岡山大学医学部臨床教授

ならい ひさし  
奈良井 恒

医学博士、日本内科学会認定内科医、

日本神経学会専門医、指導医

おもて よしお  
表 芳夫

医学博士、日本内科学会認定内科医、

日本神経学会専門医、日本てんかん学会専門医

ふじわら しゅんや  
藤原 舜也

日本内科学会認定内科医



左から表芳夫、真邊泰宏、奈良井恒、藤原舜也